

# ひとりで悩まないで!

9月17日から23日までの期間は「子どもの人権110番」強化週間です。

毎日の生活の中で、友達のこと、学校のこと、先生のこと、家族のことなどで、つらく悲しい気持ちになったときは、ひとりで悩まないで電話してください。

また、子どものことで悩んでおられるご家族の方、人権擁護委員があなたの相談にお答えします。



【期間】 9月17日(月)から9月23日(日)

【時間】 午前8:30から午後7:00まで

※土曜日・日曜日は午前10:00から午後5:00まで

【電話番号】 ☎0120-007-110(フリーダイヤル)

## ◆問い合わせ先

大津地方法務局 ☎077-522-4673

## 金色イノシシの陳列ケースを寄贈いただきました

▶ケースに入った金色イノシシ



8月6日(月)、<sup>ひろせみそし</sup>広瀬三十二さん(上野田)から、アクリルカバールの木工陳列ケースを寄贈いただきました。これは、今年6月に日野町猟友会から寄贈いただいた金色のイノシシを展示するためにいただいたものです。ケースの大きさは幅170cm、高さ150cm、奥行70cm、キャスター付きで移動可能です。

広瀬さんは「大事に使ってください」と述べられ、町長は「元気なまち、活気あるまちの象徴になるようにしたい」とお礼のあいさつをしました。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

## 綿向雑感

日野町長 藤澤直広

青い空に白入道雲が浮かぶころ、一人の女性がさわやかな余韻を残し日野町を去っていき名は、シュエロン・カウ、日野中学校で英語の指導をしていた先生です。2年前、アメリカはメリーランド州(ワシントンの隣)から来た中国系の彼女は、明るくて気さくで、「藤澤さ〜ん」と流暢な日本語で声をかけてくれました。彼女は別れの記念に7月20日の終業式で自作のDVD映像を生徒たちに見せてくれました。

外国人から見た日野町や生徒たちは、どのように彼女の目に映ったのでしょうか。中学校での生徒や先生との出来事を楽しくまとめた映像の中で、彼女は「体育祭、私の大好きだったのは熱狂的なダンス。そして綱引きもムカデ競争も、苦しそうな顔が好き、なんといいエネルギー」とコメントしています。違う文化の中にあっても一生涯命がなげける生徒たちの姿が好きだったのでしよう。「がんば

る」は、英語で「do your best」と訳してくれました。「自分の最善を尽くす」という意味になるのでしょうか。そして、彼女は贈る言葉として「私の明るくて素晴らしい生徒たちにこの事を言っておきたいと思う。『夢はあきらめた瞬間に終わってしまう。この世に君は一人、いつも自分に誠実に、また正直でいてください』と語り、「ここでの生活は私の青春の最高の瞬間でした」と結んでくれました。

この夏、蒲生野考現倶楽部が実施された「日韓子ども交流体験」でも、韓国と県内の子どもたちが鎌掛小学校に泊まり交流されました。また、韓国の恩山中学校からも生徒たちなど20名が来られました。民泊や中学生との交流など言葉は十分通じなくてもすぐに仲良くなり片言の言葉と身振り、手振りの会話に花が咲きました。交流会である先生が、「韓国の子どもたちは日本との関係についてしっかりと歴史を学んでいる」と話されました。国際交流とは、言葉や外見、文化の違いを認め合って尊重することともに、それぞれの国との歴史関係にしっかりと向き合うことも大切だと思いました。

この世に君は一人、いつも自分に誠実に、また正直でいてください」と語り、「ここでの生活は私の青春の最高の瞬間でした」と結んでくれました。